



# 出来形測定報告書

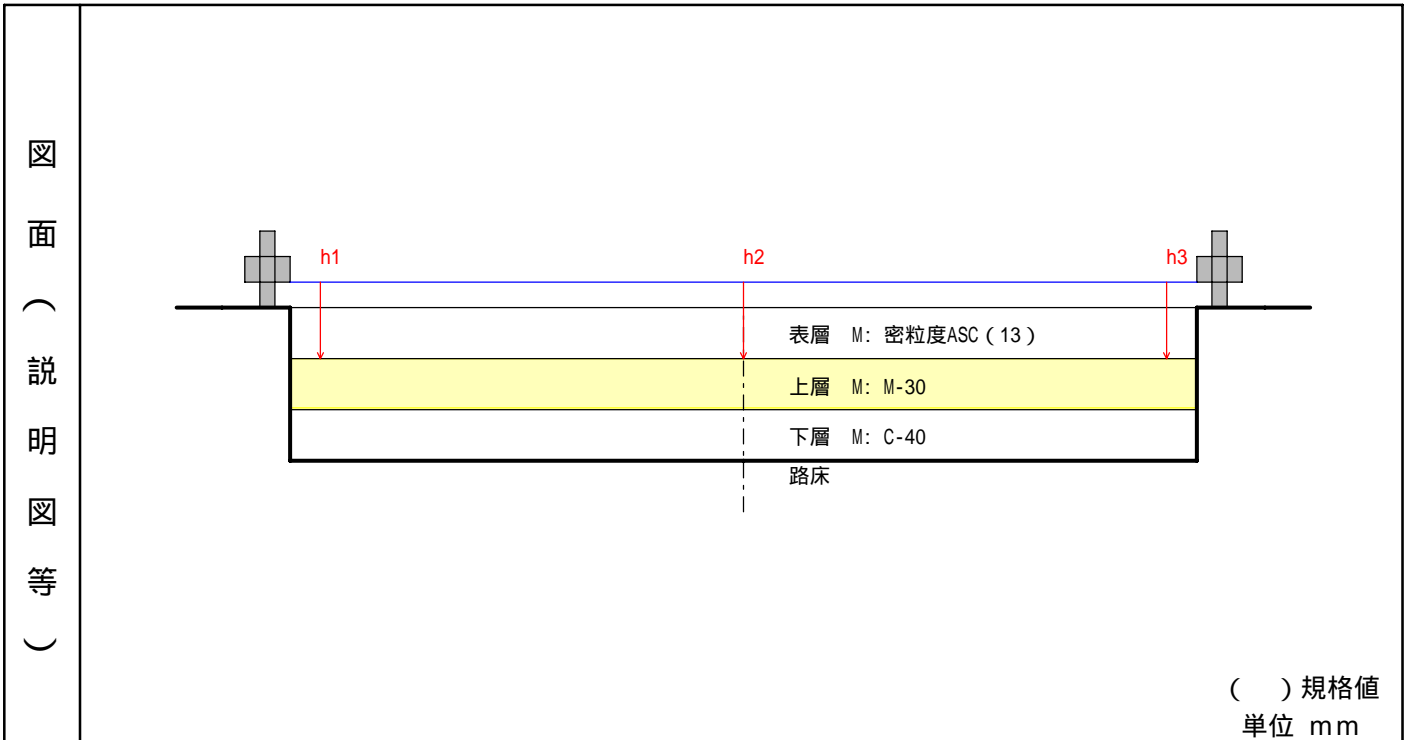
工事名： 国道 x号線改良工事

請負者： ウェストフィールド(株)

路線名：

測定者： 日本太郎

工種・種別： 上層



月測 日定	測 点	h1 ( )			h2 ( )			h3 ( )			( )			立 会 欄
		設 計	出 来 形	誤 差	設 計	出 来 形	誤 差	設 計	出 来 形	誤 差	設 計	出 来 形	誤 差	
	BP	150	156	+6	112	117	+5	150	155	+5				
	BP+1.736	150	152	+2	112	113	+1	150	154	+4				
	BP+6.000	150	154	+4	112	112	±0	150	151	+1				
	BP+12.00	150	151	+1	112	113	+1	150	153	+3				
	BP+17.00	150	150	±0	112	114	+2	150	152	+2				
	NO.1	150	154	+4	112	114	+2	150	152	+2				
	NO.1+3.000	150	150	±0	112	112	±0	150	150	±0				
	NO.1+5.500	150	151	+1	112	113	+1	150	151	+1				
	NO.1+14.000	150	153	+3	112	113	+1	150	151	+1				
	NO.1+18.000	150	154	+4	112	112	±0	150	150	±0				
	NO.2	150	155	+5	112	116	+4	150	154	+4				

基準高については、設計図において表示されているものについてのみ記入すること。

監督職員が検測に立会したものについてサインすること。

監督職員		現場代理人	
------	--	-------	--

# 上層 出来形成果表

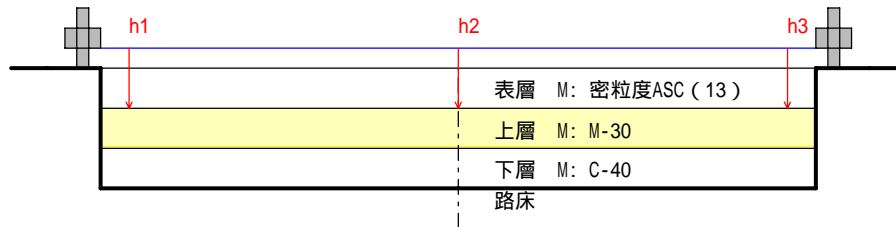
工事番号 \_\_\_\_\_

工事名 国道 x号線改良工事 \_\_\_\_\_

現場代理人 日本太郎 \_\_\_\_\_

施工管理担当者 日本 次郎 \_\_\_\_\_

測定箇所 規格値	h1			h2			h3												測定 年月日	備考			
	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )					
測点	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差		
BP	150	156	+6	112	117	+5	150	155	+5														
BP+1.736	150	152	+2	112	113	+1	150	154	+4														
BP+6.000	150	154	+4	112	112	±0	150	151	+1														
BP+12.00	150	151	+1	112	113	+1	150	153	+3														
BP+17.00	150	150	±0	112	114	+2	150	152	+2														
NO.1	150	154	+4	112	114	+2	150	152	+2														
NO.1+3.000	150	150	±0	112	112	±0	150	150	±0														
NO.1+5.500	150	151	+1	112	113	+1	150	151	+1														
NO.1+14.000	150	153	+3	112	113	+1	150	151	+1														
NO.1+18.000	150	154	+4	112	112	±0	150	150	±0														
NO.2	150	155	+5	112	116	+4	150	154	+4														



判定

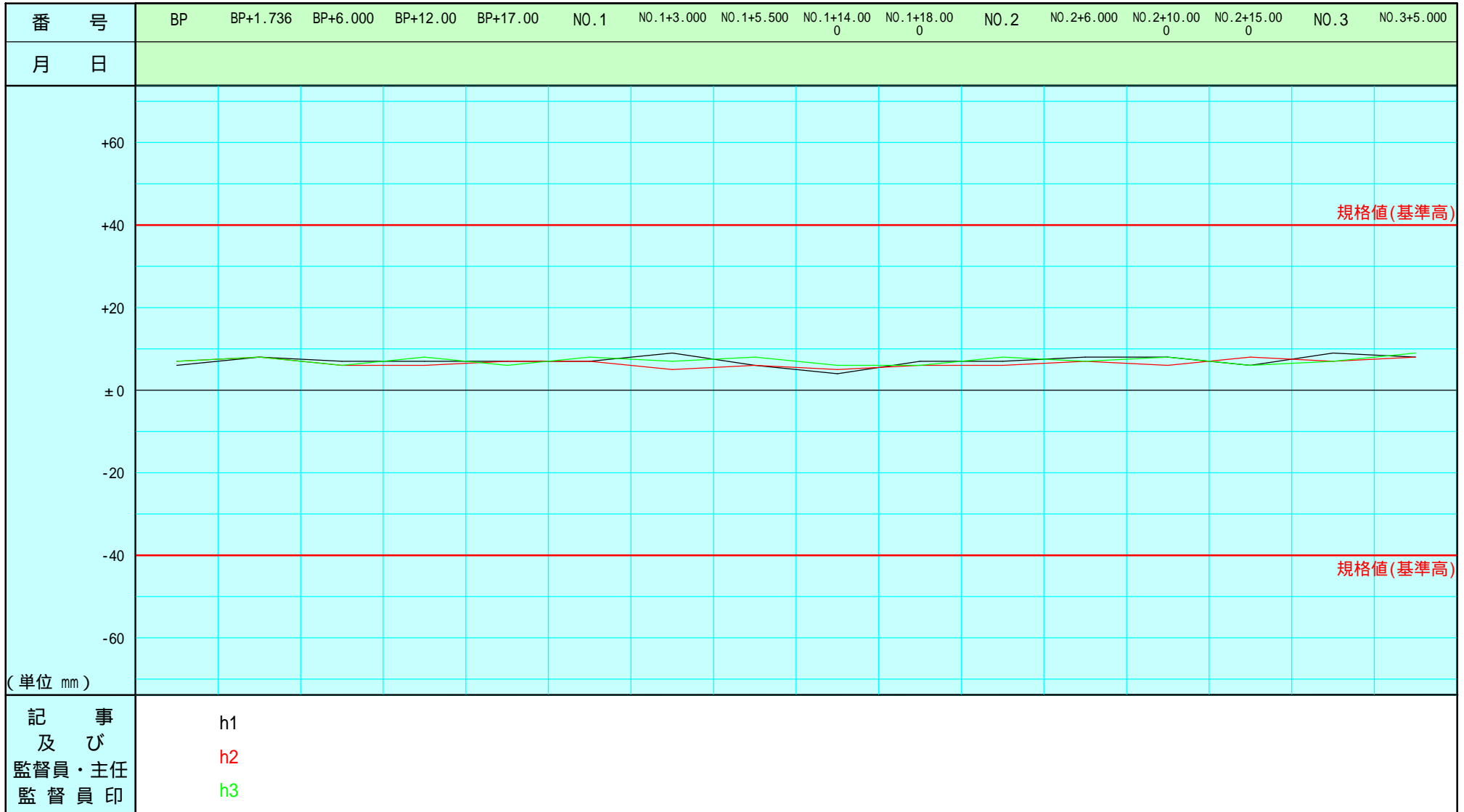
京都府 下層 下がり 管理図表

会社名 ウェストフィールド(株)  
現場代理人 日本太郎

工事事務所

出張所  
監督官

測定者 日本太郎



- 注 1. 工種名は土工、路盤工、側コウ工、ノリ履工、ノリ留工等と記入する。  
 2. 概題は、厚管理図表、基準高管理図表、3m平たん性管理図表等と記入する。  
 3. 番号はあらかじめ測点を定め、起点から終点に向かって順序に記入しておく。  
 4. 月日は、測定の際、該当測量番号にあたるものを記入する。  
 5. 設計値と実測値の単位を定め、目盛りに数値を記入する。  
 6. 図表には規格値の線を朱書で記入する。  
 7. 記事は、手直しの処置等を記入承諾印を押す。

## 上層 出来形管理成果表

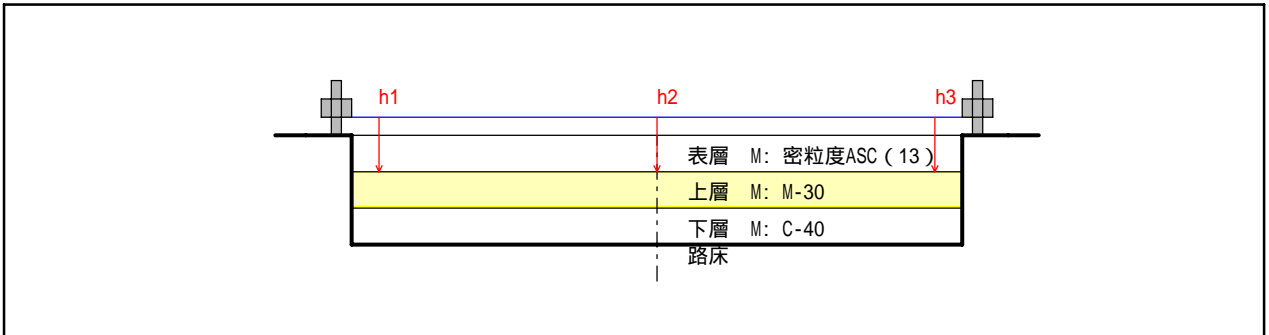
平成 22年 1月 8日

課長	係長	監督員	監督員	監督員

工事名 国道 ×号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株) 印

工事箇所 京都府 測定者 日本太郎 印

工種	上層
種別	
細別	



規格値 位置 測点	h1			h2			h3					
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
BP	150	156	+6	112	117	+5	150	155	+5			
BP+1.736	150	152	+2	112	113	+1	150	154	+4			
BP+6.000	150	154	+4	112	112	±0	150	151	+1			
BP+12.00	150	151	+1	112	113	+1	150	153	+3			
BP+17.00	150	150	±0	112	114	+2	150	152	+2			
NO.1	150	154	+4	112	114	+2	150	152	+2			
NO.1+3.000	150	150	±0	112	112	±0	150	150	±0			
NO.1+5.500	150	151	+1	112	113	+1	150	151	+1			
NO.1+14.000	150	153	+3	112	113	+1	150	151	+1			
NO.1+18.000	150	154	+4	112	112	±0	150	150	±0			
NO.2	150	155	+5	112	116	+4	150	154	+4			
NO.2+6.000	150	152	+2	112	114	+2	150	154	+4			
NO.2+10.000	150	150	±0	112	115	+3	150	151	+1			
NO.2+15.000	150	150	±0	112	115	+3	150	152	+2			

# 出来形成果表

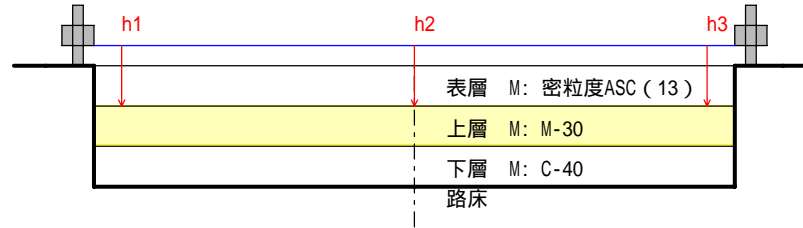
主任監督員	監督員	監督員

京都府 \_\_\_\_\_

出来形成果表

種目 上層 \_\_\_\_\_

記事 \_\_\_\_\_



請負者 ウェストフィールド(株)

現場代理人 日本 太郎

測定者 日本 太郎

測点	h1 ( )			h2 ( )			h3 ( )			( )			( )			( )			( )			
	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	
BP	150	156	+6	112	117	+5	150	155	+5													
BP+1.736	150	152	+2	112	113	+1	150	154	+4													
BP+6.000	150	154	+4	112	112	±0	150	151	+1													
BP+12.00	150	151	+1	112	113	+1	150	153	+3													
BP+17.00	150	150	±0	112	114	+2	150	152	+2													
NO.1	150	154	+4	112	114	+2	150	152	+2													
NO.1+3.000	150	150	±0	112	112	±0	150	150	±0													
NO.1+5.500	150	151	+1	112	113	+1	150	151	+1													
NO.1+14.000	150	153	+3	112	113	+1	150	151	+1													
NO.1+18.000	150	154	+4	112	112	±0	150	150	±0													
NO.2	150	155	+5	112	116	+4	150	154	+4													
NO.2+6.000	150	152	+2	112	114	+2	150	154	+4													
NO.2+10.000	150	150	±0	112	115	+3	150	151	+1													
NO.2+15.000	150	150	±0	112	115	+3	150	152	+2													
NO.3	150	156	+6	112	115	+3	150	154	+4													

( ) 内数値は規格値



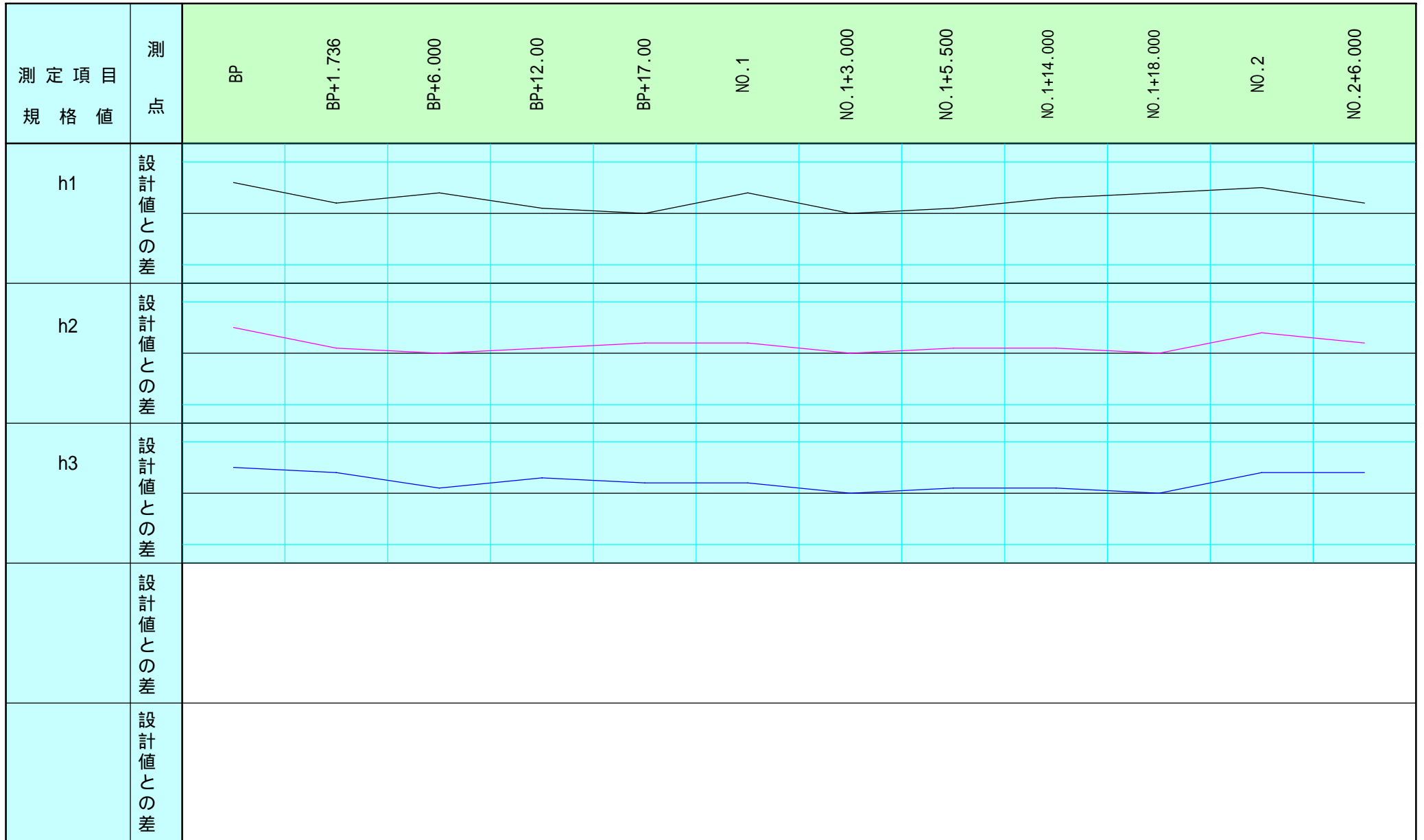
# 出来形管理図（工程能力図）

工種 上層

種別

測定者 日本 太郎

印



注) 不要な文字は = で消すこと。

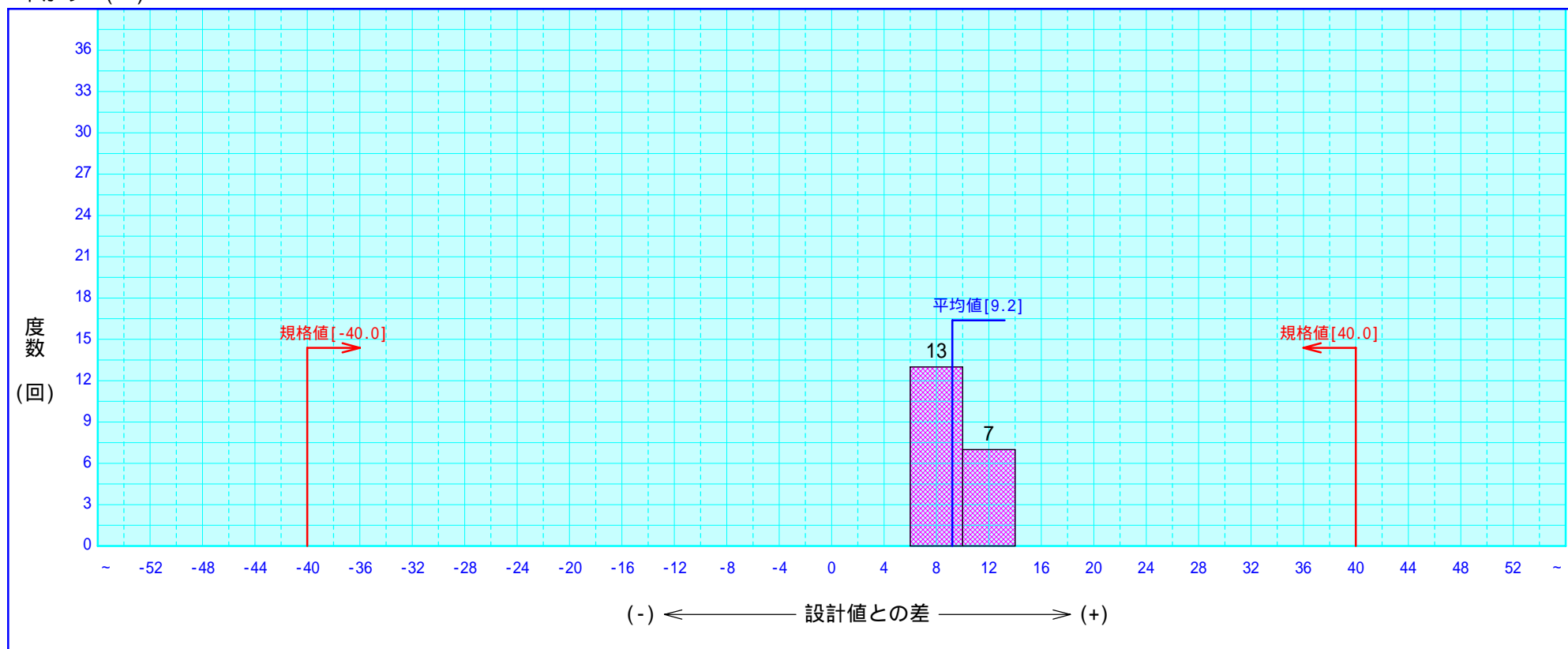


# 路床 度数表

測定者 日本太郎

印

下がり (h2)

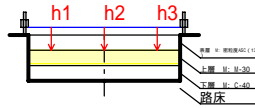


# 測定結果一覧表

工事名 国道 x号線改良工事  
 工種名 上層

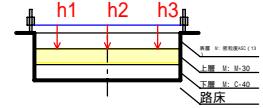
請負会社名 ウェストフィールド(株)  
 測定者 日本 太郎 印

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h1

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h2

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					$E = D - C$	$F = A - E$
		BP	150	156	6	
		BP+1.736	150	152	2	
		BP+6.000	150	154	4	
		BP+12.00	150	151	1	
		BP+17.00	150	150	0	
		NO.1	150	154	4	
		NO.1+3.000	150	150	0	
		NO.1+5.500	150	151	1	
		NO.1+14.000	150	153	3	
		NO.1+18.000	150	154	4	
		NO.2	150	155	5	
		NO.2+6.000	150	152	2	
		NO.2+10.000	150	150	0	
		NO.2+15.000	150	150	0	
		NO.3	150	156	6	
		NO.3+5.000	150	155	5	
		NO.3+10.000	150	153	3	
		NO.3+14.000	150	156	6	
		NO.3+18.000	150	152	2	
		NO.4	150	156	6	

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					$E = D - C$	$F = A - E$
		BP	112	117	5	
		BP+1.736	112	113	1	
		BP+6.000	112	112	0	
		BP+12.00	112	113	1	
		BP+17.00	112	114	2	
		NO.1	112	114	2	
		NO.1+3.000	112	112	0	
		NO.1+5.500	112	113	1	
		NO.1+14.000	112	113	1	
		NO.1+18.000	112	112	0	
		NO.2	112	116	4	
		NO.2+6.000	112	114	2	
		NO.2+10.000	112	115	3	
		NO.2+15.000	112	115	3	
		NO.3	112	115	3	
		NO.3+5.000	112	114	2	
		NO.3+10.000	112	113	1	
		NO.3+14.000	112	115	3	
		NO.3+18.000	112	114	2	
		NO.4	112	117	5	

記入要項

- 「工種名」は、掘削(基準高(V))、フルーム(厚さ(T))、橋台(中心線のズレ(e))等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測定番号を記入する。
- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。

- 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
- 部分については発注者が記入する。

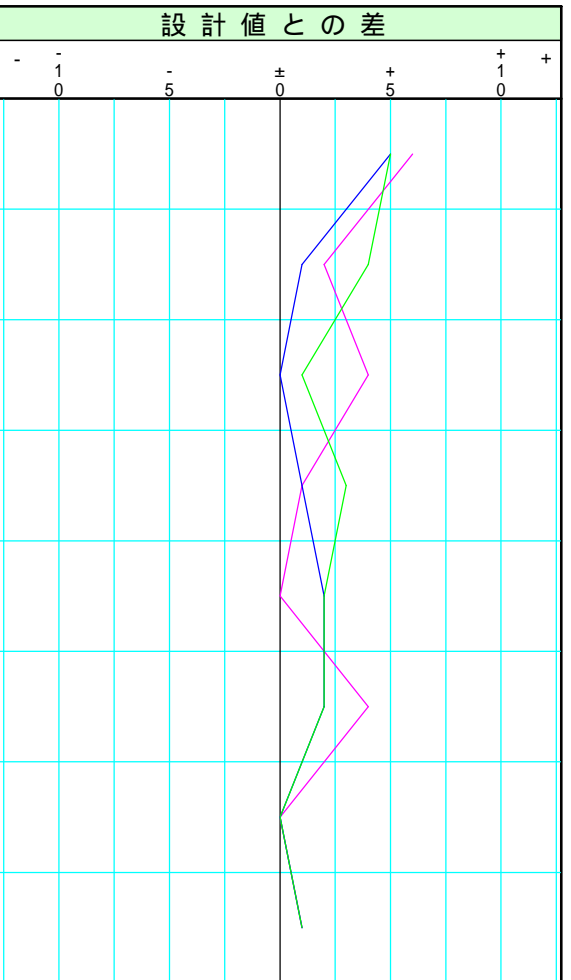
# 上層 出来形管理図表

工事名 国道 x号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株)

工種名 測定者 日本 太郎 印

管理基準値 A		規格値 B		測 単 定 位
+	-	+	-	
mm				

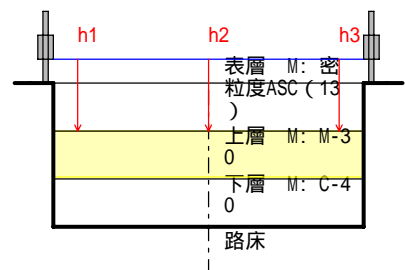
番号	月日	測 点	設計値 C	実測値 D	設計値 との差 E = D - C	管理基準 値との差 F = A - E	設 計 値 と の 差					
							-	-	±	+	+	
							1 0	5	0	5	1 0	
		BP h1	150	156	6							
		h2	112	117	5							
		h3	150	155	5							
		BP+1.736 h1	150	152	2							
		h2	112	113	1							
		h3	150	154	4							
		BP+6.000 h1	150	154	4							
		h2	112	112	0							
		h3	150	151	1							
		BP+12.00 h1	150	151	1							
		h2	112	113	1							
		h3	150	153	3							
		BP+17.00 h1	150	150	0							
		h2	112	114	2							
		h3	150	152	2							
		NO.1 h1	150	154	4							
		h2	112	114	2							
		h3	150	152	2							
		NO.1+3.000 h1	150	150	0							
		h2	112	112	0							
		h3	150	150	0							
		NO.1+5.500 h1	150	151	1							
		h2	112	113	1							
		h3	150	151	1							



**記入事項**

1. 「工種名」は、掘削(基準高(V))、丸- $\mu$ (厚さ(T))、橋台工(中心のズレ(e))等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

**測定箇所図**



h1                      h2                      h3

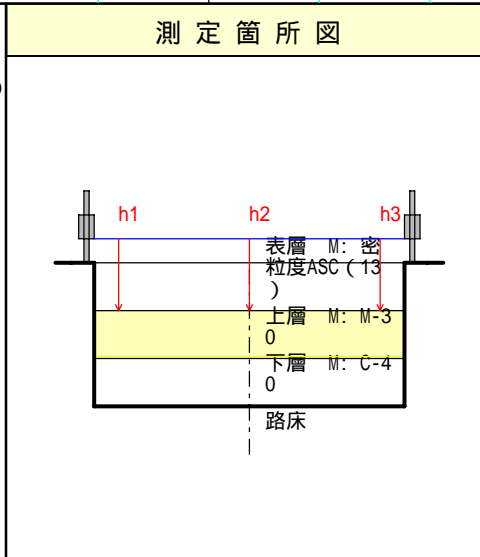
# 上層 出来形管理図表

工事名 国道 x号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株)

工種名 測定者 日本 太郎 印

管理基準値 A		規格値 B		測定 単位
+	-	+	-	
mm				

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E = D - C	管理基準 値との差 F = A - E	設計値との差			
							-	1	0	+
		BP h1	150	156	6					
		h2	112	117	5					
		h3	150	155	5					
		BP+1.736 h1	150	152	2					
		h2	112	113	1					
		h3	150	154	4					
		BP+6.000 h1	150	154	4					
		h2	112	112	0					
		h3	150	151	1					
		BP+12.00 h1	150	151	1					
		h2	112	113	1					
		h3	150	153	3					



**記入事項**

1. 「工種名」は、掘削（基準高（V））、フルム（厚さ（T））、橋台工（中心のズレ（e））等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

h1                      h2                      h3

# 上層 出来形管理図表

工事名 国道 x号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株)

工種名 \_\_\_\_\_ 測定者 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

管理基準値 A		規格値 B		測 単 定 位
+	-	+	-	
				mm

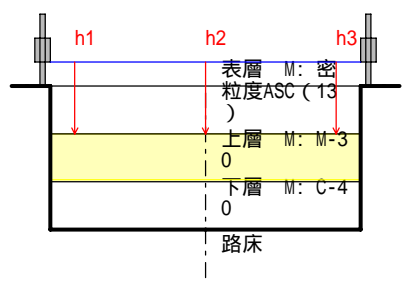
番号	月日	測 点	設計値 C	実測値 D	設計値 との差 E = D - C	管理基準 値との差 F = A - E	設 計 値 と の 差	
							-	+
		BP+6.000 h1	150	154	4			
		h2	112	112	0			
		h3	150	151	1			
		BP+12.00 h1	150	151	1			
		h2	112	113	1			
		h3	150	153	3			

**記入事項**

1. 「工種名」は、掘削（基準高（V））、フル-k（厚さ（T））、橋台工（中心のズレ（e））等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

h1
h2
h3

**測定箇所図**





# アルバム添付用出来形略図

工事名：国道 x号線改良工事

工種	上層	測点	BP	出来形検測
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		156	117	155
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	112	151
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	153
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	112	150
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	151